

# NEWS RELEASE

## POLA MUSEUM ANNEX

2013年4月25日

日本の伝統的な美意識と現代アートの融合

### 「ミヤケマイ『おしろいばな』 Little Lily-White Lie」

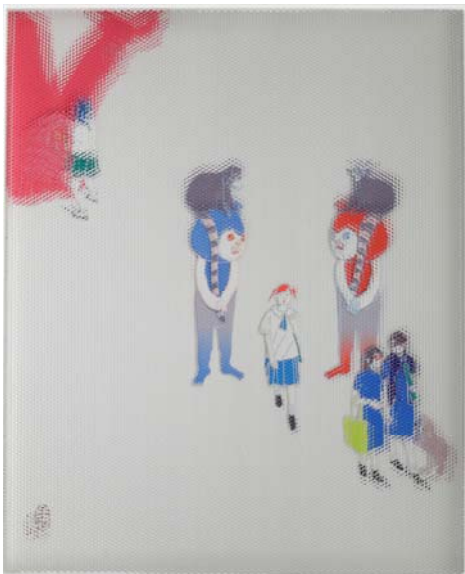
2013年5月25日(土)から開催

ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、日本の伝統的な美意識に根ざしながら、独自の作品世界を展開する気鋭の若手アーティスト、ミヤケマイ氏の展覧会『おしろいばな』 Little Lily-White Lie を2013年5月25日(土)から6月30日(日)まで開催します。

古典の物語や古くからの慣習などを題材に、ユーモラスに、時にシニカルに再構築するミヤケ氏の作品には、思わず人が見落としてしまいそうな、たくさんの情報が込められています。作品の中の不思議な登場人物や魅力的な動物に目を留めた時、その先にある何かを見ることが出来るような気がします。その繊細でリリカル、かつ独創的な作品は、現代アート好きの若い女性から日本画、骨董好きのコレクターまで幅広い人気を得ています。

今回、ミヤケ氏が絶えず探求し続ける永遠の色である「白」をテーマに、国内未発表の大型軸装(掛け軸)の平面作品や新作ホログラフィックを組み込んだ作品など、約20点を展示します。作品を通じて「白」の持つ可能性を感じていただける展覧会です。

会期中、ミヤケ氏によるギャラリートークも開催予定です。



「見えないもの」 2011年



「胡蝶の夢」 2011年



「世界/Our World」 2011年

#### 【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室

TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス

TEL 03-3563-5501

## || 展覧会概要 ||

展覧会名：ミヤケマイ 『白粉花』 Little Lily-White Lie

会 期：2013年5月25日（土）～ 6月30日（日）[37日間] ※会期中無休

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス（〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階）

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7 番出口すぐ

東京メトロ 銀座駅 A9 番出口 徒歩6 分

JR 有楽町駅 京橋口 徒歩5 分

主 催：株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス

協 力：NPO Hexaproject

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30 まで)

入 場 料：無料

## || 関連イベント ||

### ■ミヤケマイ ギャラリートークのお知らせ

3名のゲストを招き、ミヤケ氏の作品、書籍、美術、色、それぞれの視点から迫る対談形式のトークイベントを行います。

日 時：6月8日(土)15:00～16:00

場 所：ポーラ ミュージアム アネックス

ゲスト：鞍田 崇(哲学者、総合地球環境研究所)

児島 やよい(フリーランス・キュレーター、ライター)

幅 允孝(BACH 代表、ブックディレクター)

申し込みにはポーラ ミュージアム アネックス発行のメルマガ登録が必要となります。

参加希望の方は、6月3日(月)までにご登録をお済ませください。

申込等の詳細を後日メルマガにてお知らせいたします。

### 【申込方法】

(PCより)HP内(<http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>)の

登録ページにアクセスし、登録を行ってください。

(会場で)受付に登録用紙をご用意しております。

※ドメイン指定受信をされている方は、予め解除、もしくは@polamuseum-annex.jp の受信設定を行ってください。

## || 作家コメント ||

産まれて落ちたとき、私達は真っ白なまま世に出て来る。  
そしてこの世を去るときも記憶も消去され、真っ白な骨や灰になって出て行く。  
その間、炭に近づけば黒し、朱に交われれば赤くなり、青は藍より出でて藍より青くもなる。  
色とは光の産む幻想にすぎない。色は思案の外とは良く言ったもの。  
色白は七難隠すというのがその七難とはなんなのであろう。

ミヤケマイ

## || プロフィール ||



日本古来より現代に続く独自の感性を織り込んだ作品を制作。作品は絵画のみならず、インスタレーション、半立体、プロダクト、小説から温泉旅館のアートディレクションまで、その表現領域は多岐にわたる。

2008年、奨学金を得て、パリ国立美術大学大学院に留学。水戸芸術館現代美術、Shanghai Duolun Museum of Modern Art、世田谷美術館、森美術館ギャラリー1での展示・ワークショップなど、国内外で幅広く活動を行う。

著書・作品集に、『おかえりなさい』村越画廊／『ココではないドコか』芸術新聞社／『膜迷路』羽鳥書店／短編小説『おやすみなさい。良い夢を』講談社

<http://www.maimiyake.com/>

## || 展示予定作品 ||



### ■ フォーカルポイント・シリーズ

「人間が視認したと知っている事の危うさ、事実という言葉の不確かさは、いつも私に考えさせます。私達の見ているものは、私達が見たいと思っているものなのではないか。もしくは見たくないと思っていることなのではないか。見ること、識る事の難しさにいつも途方に暮れます。」(ミヤケマイ)

「見えないもの」(一部) 2011年



### ■ オラクル・シリーズ

オラクル・シリーズは「光と陰」は二つで一つであるということ。

そして「光がないところに陰はなく、陰なきところに物語(メッセージ)はない」ということをテーマにした作品です。

「知恵の実」 2011年



### ■ 国内未発表作品

香港アートフェアで発表したインスタレーション作品。大型の軸がテーブルトップになっています。

「窓」 2011年